

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

新しいオンラインデータベースのご紹介
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー

この春より当館のデータベース席に、経済・ビジネス・企業情報の調べものに役立つデータベース「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」が加わりました。



4月1日より新サービススタート!

経済ビジネス分野の調べものに!

1895年創刊の代表的ビジネス専門誌「週刊東洋経済」、株式投資、企業研究のバイブル「会社四季報」をはじめ、「一橋ビジネスレビュー」や「CSR企業総覧」など、東洋経済新報社の経済・ビジネス・企業情報誌の記事検索ができるサービスです。もちろん、横断検索が可能なので一つのキーワードに対していろいろな角度から調べることができ、とても便利です。掲載された誌面のままPDFファイルやビューア機能で閲覧することが可能です(一部のコンテンツや記事を除く)。調べものや情報収集に、ぜひご利用ください!

ご利用は2階図書フロアカウンターへお申し出ください。
※データベースの利用には千代田区立図書館の貸出券が必要です。

6月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「江戸の人々の暮らし」(～7/16)

江戸の町の人々は、どのような暮らしを営んでいたのでしょうか。この時代には、独自の習慣が多数生まれ、中には現代まで受け継がれているものもあります。当時の人々の暮らしを豊富なパネルで紹介し、私たちがより良く暮らすためのヒントを探します。

3F ブルーゾーン 「目に見える思考-超現実・超常識-」(～6/18)

「シュルレアリスム」から、日本において独自に進化した「シュール」「不条理」という概念までを紹介し、マグリットが語った『目に見える思考』を皆様に楽しんでいただく展示です。

3F グリーンゾーン 「時を重ねる」(～9/17) **NEW!**

“若さ”も“新品の輝き”も素晴らしいものですが、“老い”も“古い”も、時が刻まれ経験を重ね味わいが出てきた様子に惹きつけられることもあります。長い時間を過ごしてきた人や物から困難なこの時期を過ごす中で、少しでも豊かな時間を作る為のきっかけを得てもらおう展示です。

展示 PICK UP

■2F パープルゾーン 三角台 ～6月30日(水)



外出自粛が求められる毎日に、せめて本の中では世界中を自由に飛び回りたい! いつかは訪れたいあの国・あの場所から、はたまた物語の異世界まで、リアルに旅する日がきっとやってくることを願う展示です。



『世界・夢の映画旅行』

- 映画選定: フィルマークス
- パイ インターナショナル
- 2020年



『読鉄全書』

- 池内 紀・松本 典久 編著
- 東京書籍
- 2018年

～6月30日(水)

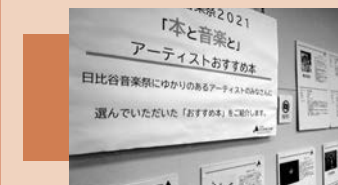
日比谷音楽祭2021「本と音楽と」

5/29(土)・5/30(日)の2日間にわたり、日比谷公園で開催される「日比谷音楽祭2021」に伴い、音楽祭にゆかりのあるアーティストの方々におススメ本を選んでいただきました。ご本人による推薦文と、「私をつくった本」や「僕にとっての道標」などのテーマを添えて一挙にご紹介します。(オススメ本の一部は展示しており、貸出しできます)。また、3FブルーゾーンのLibrarian's Pick(ライブラリアンズピック)では、音楽全般に関する本を幅広く展示しています。1Fカフェではオススメ本とアーティストの方の関連本の販売も行っていますので、そちらも是非ご覧ください。

協力:株式会社ザ・フォレスト、日比谷音楽祭実行委員会

■2F エレベーターホール ■3F ブルーゾーン

【Librarian's Pick】



『新しい音を恐れるな 現代音楽、複数の肖像』

- インゴ・メッツマッハー 著
- 小山田豊 訳 ● 春秋社 ● 2010年



『ポピュラー音楽再考 グローバルからローカルアイデンティティへ』

- 東谷 護 編著
- せりか書房 ● 2020年

予告 日比谷図書文化館/特別展

紀伊国屋三谷家コレクション
浮世絵を
うる・つくる・みる

いまや日本を代表する芸術として世界中から愛される浮世絵。本展では、「うる」「つくる」「みる」をキーワードに、江戸・明治期に町の絵草紙屋で売られていた浮世絵が、人びとのささやかな娯楽品として、また暮らしの貴重な情報源として親しまれていたことを紹介します。今回展示するのは、千代田区指定文化財である紀伊国屋三谷家コレクションの浮世絵150点余りです。万治3(1660)年の創業以来、神田塗師町(現・鍛冶町二丁目)で金物問屋を営んでいた三谷家は、江戸時代後期の八代目当主・長三郎(1819-1886)の時代に、浮世絵師たちのパトロンとなつてその制作に関与しました。今回は、三代豊国や国芳の画稿(下絵)など三谷家に届けられた貴重な資料をもとに、普段明かされることのない浮世絵制作の裏側にも迫ります。色鮮やかで闊達な浮世絵の世界をぜひ堪能ください。



歌川国芳「宮本無三四」(三谷家寄託資料、後期展示)



三代歌川豊国「四代目中村歌右衛門 石川五右衛門」(三谷家寄託資料、前期展示)

7/17(土)～9/19(日)

※前後期で出品作を全点展示替え

■前期:7月17日(土)～8月15日(日)

■後期:8月18日(水)～9月19日(日)

【開室時間】月～木・土:10時～19時、金:10時～20時、日・祝:10時～17時(入室は閉室の30分前まで)【閉室日】休館日:7月19日(月)、8月16日(月)、展示替え日:8月17日(火)【会場】千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室【主催】千代田区、千代田区教育委員会、千代田区立日比谷図書文化館【協力】草津宿街道交流館、国立国会図書館、株式会社高橋工房、東京大学総合図書館、長崎大学附属図書館、町田市立国際版画美術館【観覧料】一般300円、大学・高校生200円、区内在住者・中学生以下の方・障害者手帳などをお持ちの方とその付き添いの方1名は無料(各種証明書の提示が必要)▶関連講座については、中面をご覧ください。

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2021年 6月							2021年 7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5				1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、開館時間等、掲載されている内容について変更や中止になる場合があります。最新情報につきましては、日比谷図書文化館(03-3502-3340)またはホームページ(https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/)にてご確認ください。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

access [都営地下鉄] ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
[東京メトロ] ●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 [JR]「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

6・7月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

6/13 (日)他

日比谷オペラ塾 加藤浩子が語る特別連続講座 名作オペラで知る歴史(全2回)

講師:加藤 浩子(音楽評論家)

「歴史オペラ」とされるオペラは数多くありますが、作品が成立した時代と重ね合わせると、その作品に秘められた意味が浮かび上がります。「ナポレオン戦争」が背景にあるプッチーニの「トスカ」、ワーグナーが夢見た「理想のドイツ」の姿が描かれた作品「マイスタージンガー」から歴史オペラを探ります。(主催:フェニーチェ劇場友の会、共催:日比谷図書文化館)



ヴェネツィアのフェニーチェ劇場の客席より

- 日時: 前編「トスカ」とナポレオン戦争 6月13日(日)14:00~15:30(13:30開場)
後編「ニュルンベルクのマイスタージンガー」が描くドイツの理想 6月27日(日)14:00~15:30(13:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:60名
 - 参加費:3000円(全2回分)
- ※各回のお申し込みはできません。初回に一括でお支払いください。

6/17 (木)他

難読漢字を深掘りする(全2回)

講師:円満字 二郎(フリーライター)

今から3000年以上も前に中国で発明された漢字には、元々は中国語としての読み方しかありませんでした。それを日本語の読み書きに用いるために、日本人はさまざまな工夫をしてきたのです。読み方が難しい漢字も、その中から生まれたもの。難読漢字に秘められた、漢字と日本語の歴史に迫ります。



- 日時:第1回「音読みと訓読みと当て字」 6月17日(木)14:00~15:30(13:30開場)
第2回「動植物の難読漢字を読み解く」 7月8日(木)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回60名 ■ 参加費:各回1000円

6/26 (土)

コーヒーで世界を変える ~すべてのコーヒーをおいしくする~

講師:José. 川島 良彰(株式会社ミカフェート 代表取締役社長、コーヒーハンター)

講師のJosé. 川島氏は28年間コーヒー生産国で暮らし世界各国の農園開発、買付、絶滅種の発見と保全/産業化、技術指導に携わり、帰国後新しいコーヒーのビジネスモデルと市場を作るため起業しました。政治や国際相場、気候変動に振り回されながらもサステイナブルなコーヒー生産に励む産地の状況をお話いただけます。



エル サルバドル共和国 セルパネグラ農園

- 日時:6月26日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

7/3 (土)

千代田区民講座 元特命全権大使が語るモンゴル!

講師:清水 武則(元在モンゴル日本国特命全権大使)

1977年から日本大使館に勤務し2016年に退官するまでの間、モンゴルに赴任すること4回。歴代で最もモンゴルを熟知した大使として知られています。教育・文化などの分野での数多くの受賞に加え、モンゴルの最高位勲章に当たる「労働功労赤旗勲章」を日本人として初めて受賞しています。交流の懸け橋として尽力された講師に、モンゴルの生活や文化などについてお話いただきます。(主催:NPO法人神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)



Photography Bayara 2016

- 日時:7月3日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:無料 ※5月25日(火)から千代田区民受付開始。区民以外は6月1日(火)から受付開始。 ※5月8日(土)の講座が延期されたものです。

7/4 (日)

東 雅夫氏 講演会「怪奇幻想文学と想像力」

講師:東 雅夫(アンソロジスト)

脅威への恐れと恐怖に立ち向かう想像力によって怪奇幻想文学は生まれました。いま我々はパンデミックという脅威に直面しています。数多くの怪奇幻想文学の作品集(アンソロジー)を編み、怪奇幻想文学の傑作を世に広めているアンソロジストが怪奇幻想文学とその母胎である想像力についてお話します。



- 日時:7月4日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

7/16 (金)

2020年代のフェミニズムに向けて メディア文化に見るジェンダーの問題

講師:田中 東子(大妻女子大学文学部教授)

この講義では、2020年代のフェミニズムにとって、メディア文化におけるジェンダーの問題の何が課題であり、どのように分析していけばよいのか、具体的な題材を扱いながら、分かりやすく説明していきます。受講後に、それまでとは世界がまるで違って見えるようになることが本講義の一番の目的です。



- 日時:7月16日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:60名 ■ 参加費:1000円
- ※6月2日(水)開催予定を変更しました。

内田嘉吉文庫に見る 渋沢栄一とその時代 ~明治・大正期の近代日本~

内田嘉吉は渋沢栄一と共に日米間に海底電信線の敷設を計画するなど関わりが深く、内田嘉吉文庫には日本経済の礎を築いた渋沢栄一の資料が多く残されています。今回の企画展示では所蔵の渋沢栄一関連の資料を展示すると共に、近代化により変わっていく明治・大正期の風景などをパネルで紹介いたします。



開催中~
7/18(日)
会期を延長しました。
入場無料

「山下御門内帝国ホテル真景」
「東京大日本名勝之内」
勝山英三郎 画
美術着色会社/1891~92年

- 開室時間:平日10:00~20:00 土曜 10:00~18:00 日曜・祝日 10:00~16:00
- 会場:4階 特別研究室

特別展 ● 関連講座

【各回共通】

- 時間:14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:60名(申込順)
- 費用:1000円(千代田区民500円〈住所を確認できるものをお持ちください〉)

6月15日(火)~ 申し込み受付開始

7/31 (土)

江戸へようこそ! 三谷家コレクションに見る 浮世絵のある暮らし

● 講師:藤澤 紫(國學院大學文学部教授)

世界中で愛される浮世絵は、まさに江戸を代表するメディアでもありました。その豊かな魅力を、千代田区ゆかりの紀伊国屋三谷家コレクションを軸に、たくさんのスライドを交えてひもときます。さあご一緒に、江戸時代にタイムスリップしてみませんか。



8/14 (土)

歌舞伎を描く 三谷家所蔵の 役者絵と三代豊国

● 講師:藤澤 茜(神奈川大学国際日本学部准教授)

江戸庶民文化の華、歌舞伎と浮世絵。人気俳優の似顔絵を描いた役者絵は、プロマイド、そして最新の歌舞伎を伝える情報誌としての役割を果たしました。江戸時代の役者絵の楽しみ方をはじめ、神田塗師町の三谷家がパトロンとしてかかわった贅を尽くした役者絵についても紹介したいと思います。



9/4 (土)

歌川国芳の武者絵が 拓いたもの スペクタクル&ファンタジー

● 講師:加藤 陽介(練馬区立美術館首席学芸員)

歌川国芳(寛政9~文久元・1797~1861)は社会の規制や時代の変化の大波に乗り、幕末から明治へと続く浮世絵に新しいテーマと表現を切り拓いた浮世絵師です。その中でも最も私たちの眼を刺激してくれるのが武者絵です。ヒーロー、ヒロインたちの大活躍をご覧ください。



From Chiyoda Public Library ■ 千代田区立図書館からのおしらせ

ビジネスを鋭く発想する セカンドオフィス テラマックス 2nd Office TeraMAX

- 会期:6月1日(火)再開予定~6月26日(土)
- 会場:千代田図書館9階 展示ウォール

※緊急事態宣言が延長された場合などは、会期を変更することがあります。

いま読んでおきたいビジネス書を「市場が求める商品やサービスを探る」「ビジネスの成長を先取りする」「人事と組織構造で勝利する」「海外の成功企業に学ぶ」など10のテーマにわけて書評とともに紹介。関連書籍と合わせて約100冊を展示・貸し出しています。

